



PSD2からみるEMV 3Dセキュアの状況

～EMV 3Dセキュアのメリットを最大限に活用するForterソリューション～

2023年3月7日



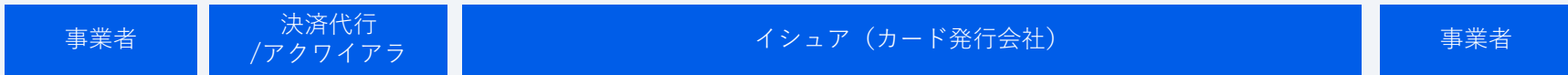
アジェンダ

- 数字で見るPSD2（ヨーロッパにおける状況）
- EMV3Dセキュアのメリットと課題
- Forterが取り組む不正対策アプローチ

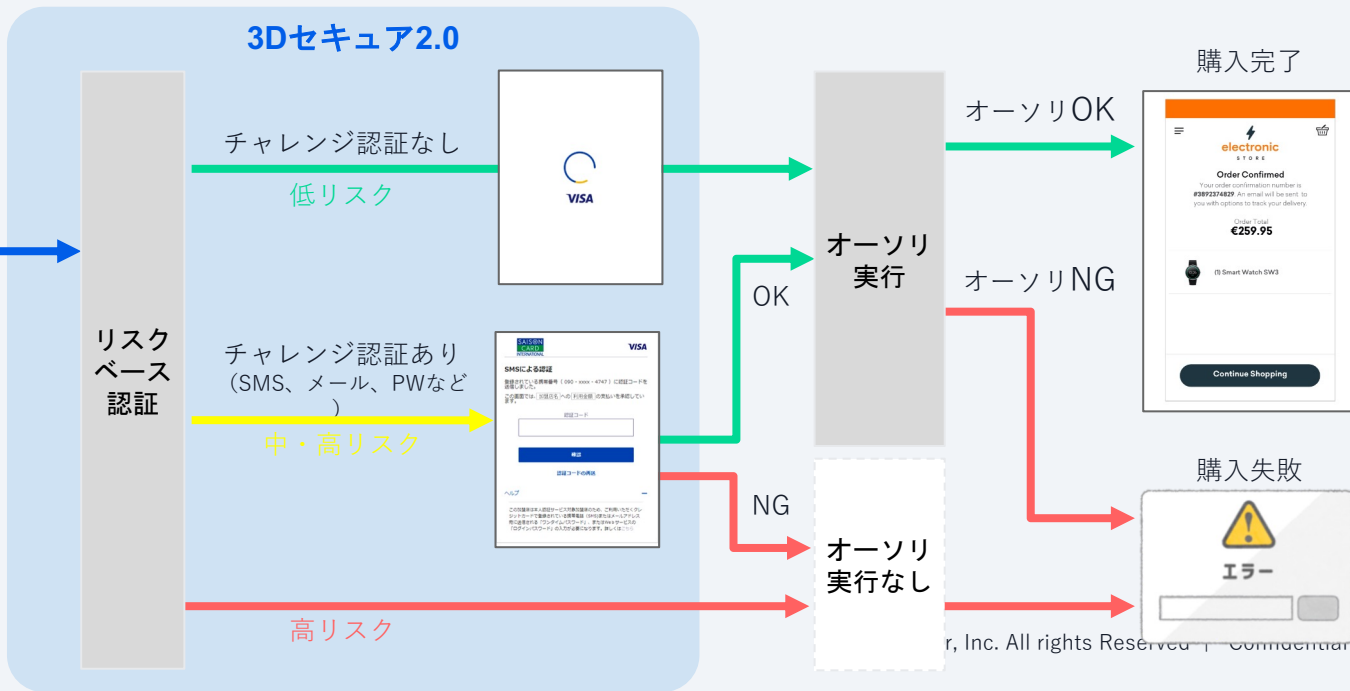
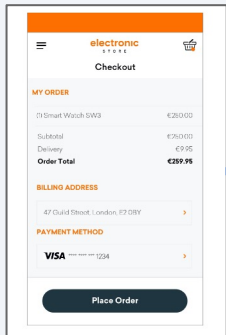
3Dセキュア2.0（EMV3Dセキュア）とは？

3Dセキュア2.0 (EMV3Dセキュア) とは？

3Dセキュア2.0 (EMV3Dセキュア) とは？



カード情報入力・確認





PSD2とは？

ヨーロッパにおける法規制（Payment Services Directive 2）

- EEA：2020年12月～、UK：2022年3月～
- 不正対策強化に向けSCA（Strong Customer Authentication: 強力な顧客認証）を義務化
 - 3Dセキュアが最も一般的に利用されているSCAツール
- 全てのオンライン取引にSCA／Exemption（免除）／Exclusion（対象外）の適用
 - 免除：トランザクションリスク分析（TRA）、低価格取引（～30 EUR）、
ホワイトリスト加盟店、B2B取引、サブスクリプション（月額課金）
 - 対象外：EEA外取引、電話やメール経由の決済、加盟店トリガーの決済（月額課金）



まとめ

1. SCAが義務化されているが免除条件もあり約9割の取引はSCA免除
 - 約9割は3Dセキュア（ライアビリティシフト）なし
1. 3Dセキュア2.0、Ver1.0に比べるとかご落ち率・成功率は大きく改善
 - 約50% (ver1.0) → 約75% (ver2.0) [Forterデータ]
1. 3Dセキュア2.0取引は約25%の取引が失敗（かご落ち）



3Dセキュア2.0
メリットと課題
(EC事業者視点)

3Dセキュア2.0のメリット・課題（EC事業者視点）

メリット

- ライアビリティシフト（被害に対する債務責任なし）
- かが落ちリスクの軽減（ver1.0比較）
- グローバル標準

課題

- かが落ちが残る
- イシューによるオーソリ承認

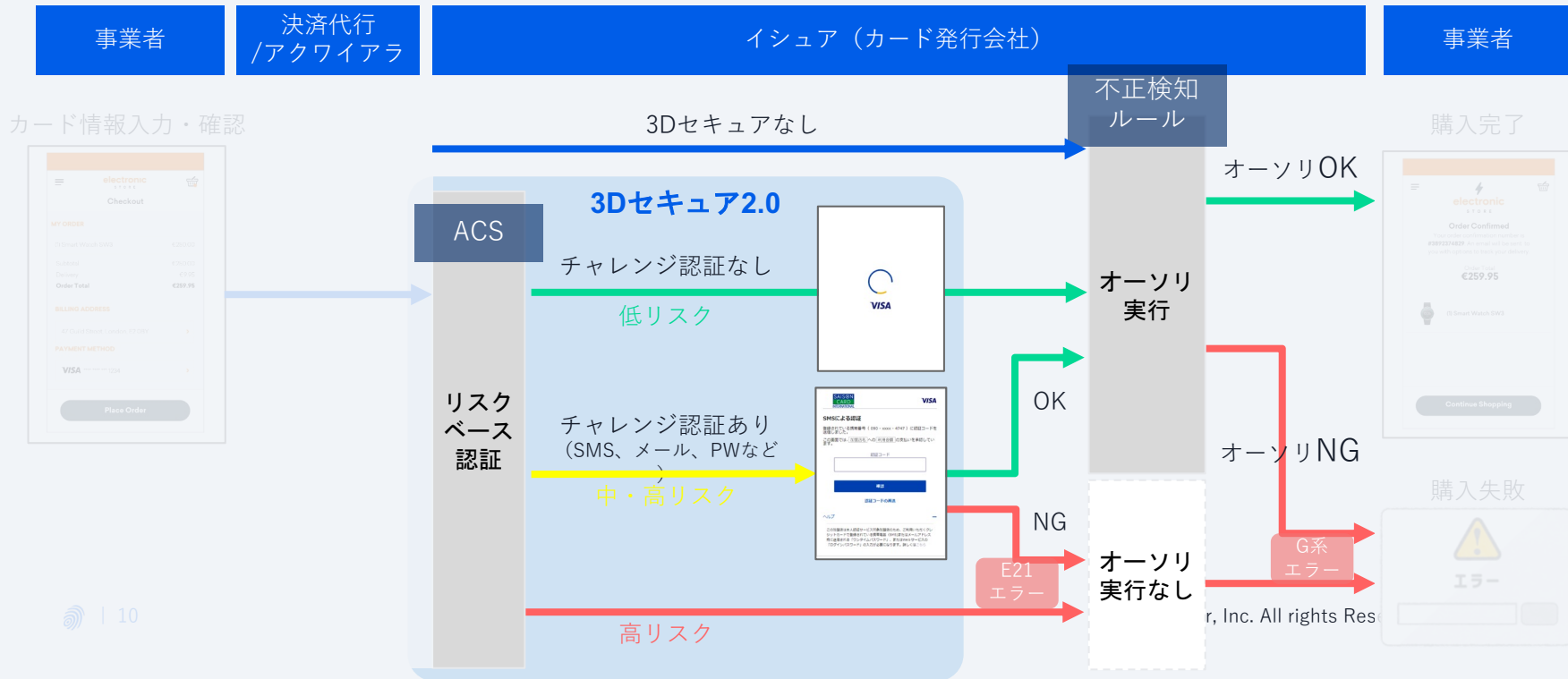
クレジットカード：取引が通るエコシステム

3Dセキュアのライアビリティシフトによりイシューの不正対策に対する負担が増加



イシュー内の不正検知メカニズムを理解することが大切

ライアビリティシフトによるイシューのリスク回避、3Dセキュア2.0新仕様への対応負荷



どうすればよい？
(EC事業者視点)

どの取引を3Dセキュア実行するかはEC事業者の選択

取引ごとに最適なルート（3Dセキュアあり/なし）を実行

1. 不正確率（リスク）の高い取引はイシューへ行く前に精度高くブロック
 - 加盟店として不正率を下げる。加盟店の信頼を上げる。
1. オーソリの承認確率を上げるべく3Dセキュアをダイナミックに実施/非実施
 - 承認される確率が上がる場合は3Dセキュア適用
1. 低リスク取引には3Dセキュアを実行せず、かご落ち回避

購入スタートから完了までの購入（承認率）率を最大化

取引リスク & イシュー毎に3Dセキュアの実施有無をダイナミックに制御し承認率を最大化

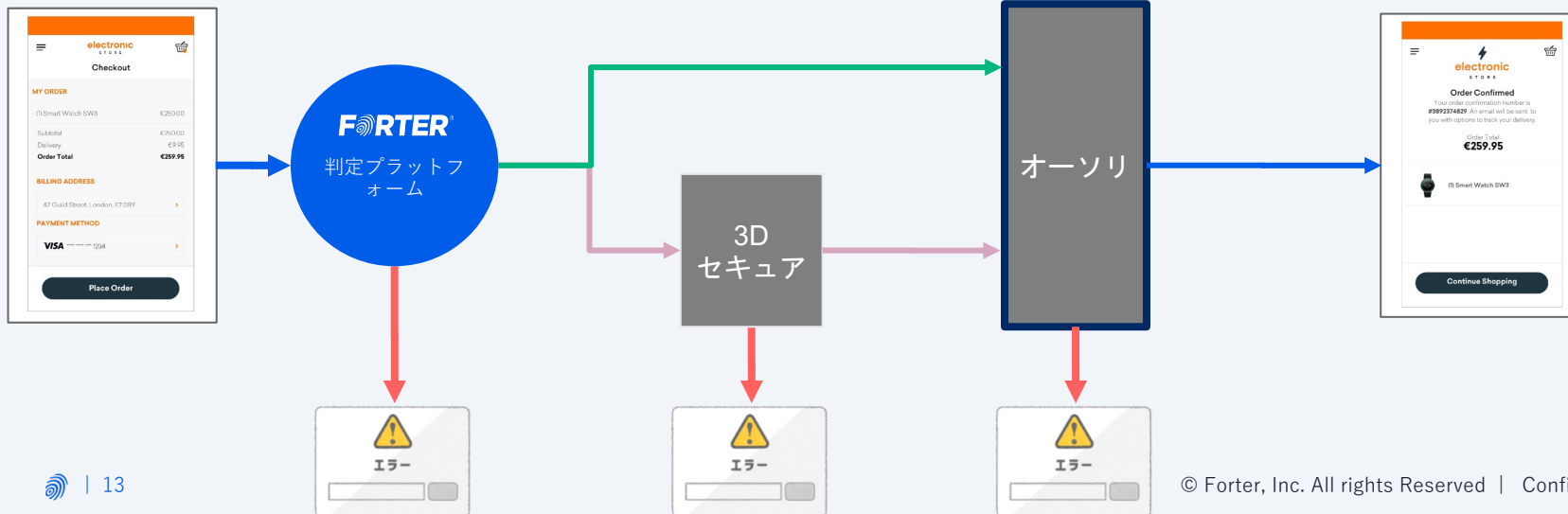
事業者/決済代行
/アクワイアラ

イシュー（カード発行会社）

事業者

購入スタート

購入完了



まとめ・ご提案

1. 3Dセキュア2.0 メリットが多くある一方で課題も残る。

- 課題：かご落ち＋イシューによるオーソリ承認

1. どの取引を3Dセキュア実行するかはEC事業者の選択

- 取引リスク＆イシュー毎に3Dセキュアの実施有無をダイナミックに制御し承認率を最大化

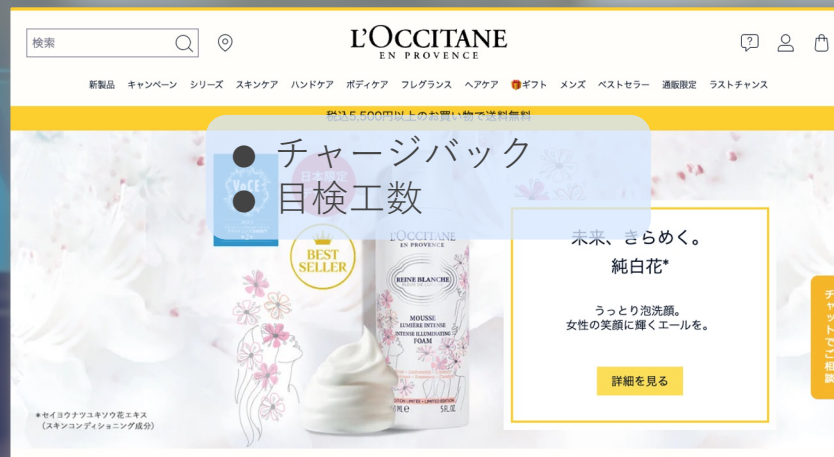
既に3Dセキュア2.0導入済みのEC事業者へのご提案（現状把握）

- 3Dセキュアでどれだけかご落ちしている？
- イシューでのオーソリエラー増えていない？



Forterとは？ (EC事業者向け)

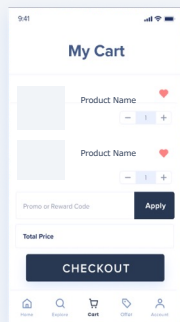
採用いただいているEC事業者様（抜粋）



不正検知（決済）におけるチャージバック以外の課題

ルール更新等の運用負荷

目検の業務負荷




社内
システム
(ルールベース)
0.1~1.0%


外部
ソリューション
(ルール+AI)
0.5~7.0%

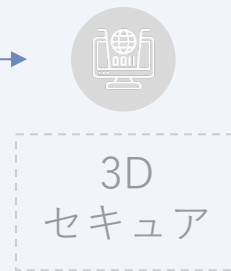
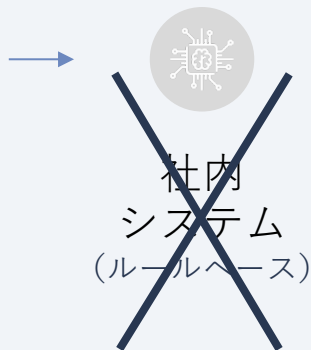
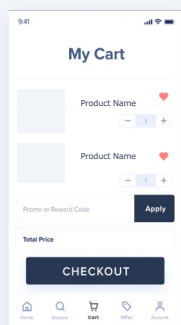

目視
チェック
0.1~3.0%


3D
セキュア
10~40%

かご落ち・ブロック率：10%~51%

Forterの特徴

1. 機械学習によるForter独自の判定手法（ルールはありません）
2. 完全自動化（OK/NG判定のみ）
3. 100%リアルタイム判定



Forterの特徴

契約で保証いたします



コンバージョン
（承認率）改善



チャージバック
損失低減

Forterご利用に当たって経済合理性を保証



Forterとは？ (イシュー向け)

イシュア・ACSとの取り組み概要



会社概要



グローバル展開

- ✓ 年間約**3,500**億ドル (約45兆円) の取引を判定
- ✓ **22万社以上**の事業者へサービス提供
- ✓ 解約率 **1%以下**



拠点

- ✓ NYC, London, Tel Aviv, Sydney, Singapore, Shanghai, Tokyo



投資家

調達額 \$525M



(2023年3月現在)



本日のまとめ（お伝えしたいこと）

- 3Dセキュア2.0、万能ではなくかご落ち等の課題残る
- どの取引を3Dセキュア実行するかはEC事業者の選択（今後の規制注目）
- Forter、独自アプローチの判定で導入効果を契約書で保証し運用を完全自動化

EC事業者向け（オンライン売上10億円/年）

90日間

パフォーマンス保証の無償お試しプログラム

お気軽にお問い合わせください

ご清聴ありがとうございました